

No.
26

令和7年10月発行

新潟市南区農業振興公社だより

編集・発行

公益社団法人 新潟市南区農業振興公社

〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780

HP:<http://niigata-agri.or.jp>

E-mail:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp



凧
受け継がれる伝統、熱き空の戦い白根大凧合戦
中之口川両岸を舞台に24畳の大凧が空を舞う
迫力満点の伝統行事「白根大凧合戦」。

300年以上続くこの合戦には、地域の歴史と

人々の情熱が込められ、今まで受け継がれています。

後世に伝えていく伝統、それは南区の人たちが郷土を愛してやまない心なのです。

令和7年度予算の概要

事業総額	58,188千円	4. 産地活性化総合対策事業	100千円
1. 総合振興対策事業	650千円	農作業募集情報の告知	
公社だよりの発行・ホームページの管理		5. 資源循環事業	6,290千円
2. 農用地利用対策事業	44,893千円	堆肥散布業務委託	
農用地利用集積円滑化事業管理費		6. 園芸事業費補助金交付事業	1,400千円
農地賃借料		7. 果樹新規担い手等支援事業	1,242千円
3. 農業振興対策事業	1,713千円	8.一般管理費	1,800千円
技術推進対策、防除対策		9. 予備費	100千円
各部会販促活動・各種団体、協議会助成			

主要事業のご紹介

01

CORE BUSINESS ONE

農用地利用対策事業

「農地中間管理事業の推進に関する法律」の改正により、令和2年度から本事業は農地中間管理事業と統合されました。これに伴い当公社との新規賃貸借契約は終了しており、公社が管理する農地面積は徐々に減少していきますが、引き続き農地の利用調整について、農地中間管理機構をはじめ、農業関係機関・団体との連携のもとに指導・支援を行います。

なお、当公社との契約期間終了後も貸付けや借受けを希望される場合は、農地中間管理機構と契約することとなりますので、農業公社又は新潟市農業委員会南区事務所へご相談ください。

02

CORE BUSINESS TWO

産地活性化総合対策事業

農作業募集情報提供事業

本事業は農家の高齢化や担い手不足に対応して、労働力を必要とする農家からの農作業募集情報を公社のホームページに掲載して農作業を手伝っていただける方を募集する事業です。

「労働力不足でお困りの方」や「農作業のお手伝いができる方」は当公社にご相談ください。

03

CORE BUSINESS THREE

資源循環事業

令和6年度散布実績

白根地区(豚糞堆肥)	180.0t	散布面積 26.4ha
味方地区(牛糞堆肥)	869.0t	散布面積 86.9ha
合 計	1,049.0t	113.3ha

新潟市から受託し進めてきた資源循環事業を、当公社の自主事業として継続して取り組み、引き続き資源循環システムの実施機関として事業の中核を担います。

JA新潟かがやき「しろね稻作部会特栽米専門部」を中心とした堆肥の施用、効用のPR、堆肥散布組織AOBA(味方地区)との連携による堆肥散布面積の拡大などにより、健康な「土づくり」による環境保全型農業の推進を図ります。



04

CORE BUSINESS FOUR

果樹新規担い手等支援事業

南区の果樹生産は生産者の高齢化と後継者不足により、栽培面積の減少と廃園の発生が問題になっています。その対策として新潟市南区果樹担い手協議会（事務局：新潟市南区産業振興課）を立ち上げ、課題の解決に向けて下記の取り組みをすすめています。

- ①新規就農者の受け入れ体制の構築
- ②貸出希望園地の情報収集
- ③就農目的で南区へ転居された方への家賃補助
- ④学生向けを含む各種研修事業
- ⑤果樹の産地PR

05

CORE BUSINESS FIVE

園芸事業費補助金交付事業

果樹防風網張替え助成事業

南区内在住の果樹農家を対象に、品質向上・収量の増加・安定生産に向けた取組を支援し、樹園地の防風網を更新するための費用の一部を補助する。（新規の設置については、市単補助事業を活用いただく）

園芸高温対策被覆資材助成事業

南区内在住の園芸農家を対象に、近年、地球温暖化によるハウス内温度の上昇で、着果不良や葉焼け等による品質低下・収穫量の減少やハウス内で作業をする生産者の暑さ対策のため高温対策被覆資材の購入に対して費用の一部を補助し品質向上・収量の増加・労働環境の改善へ向けた取組を支援し、産地を維持する。



補助の内容（上記2事業共通）

対象経費	果樹防風ネット・園芸高温対策被覆資材本体の購入費用
補助金額	① 公社会員は事業費の1/2以内（税抜き） ② 会員以外は事業費の1/4以内（税抜き）
上限補助額	① 会員は100,000円 ② 会員以外は50,000円
申請書類	① 申請書兼実績報告書 ② 補助金入金通帳の写し ③ 令和7年4月1日以降に購入された領収書・請求書 JAの購入伝票のいずれか
申請期限	令和8年3月6日まで
提出先	南区公社または最寄りのJAアグリセンター・フルーツフラワーしろね

新規就農者紹介

「規模拡大を目指して」

渡邊 悠平さん 23歳

2023年春に新潟県農業大学校を卒業し、親元で就農された渡邊悠平さん(23歳)は、大学では園芸経営科で果樹を専攻。

元々桃を作つてみたいという思いを抱いていたところ、ご縁もあって園地を借りて桃を作ることになり、現在3年目になりました。

作り始めた当初は覚えることもたくさんあり大変でしたが、1年間の流れが分かるようになってからは、少しずつですが作業がスムーズにできる

ようになったそうです。また桃の先輩生産者からの指導もあって、今では大分作業に慣れてきたとのこと。

今は巨峰やシャインマスカットなどブドウを中心に約1ha栽培していますが、今後は技術を磨き沢山の経験を積んで、桃の規模拡大を目指したいと張り切っています。

目標をもって張り切っている悠平さんを地域の皆さんで応援しましょう。



令和7年度 役員の紹介

役職名	氏名	所属等
理事長	小野 志乃武	新潟かがやき農協代表理事理事長
副理事長	長濱 達也	新潟市南区長
理事	伊勢亀 裕二	新潟市農業委員会南区部会長
理事	塩原 信子	新潟市農業委員会農業委員
理事	土田 恵治	新潟県農業共済組合監事
理事	丸山 久夫	白根郷土地改良区理事長
理事	本間 勇一	しろね野菜連絡協議会長

役職名	氏名	所属等
理事	杉柳 辰夫	農事組合法人高井興野農場代表理事
理事	樋口 和典	農事組合法人高井生産組合理事
理事	小林 勝	指導農業士会会長
理事	遠藤 茂	しろね果樹部会長
理事	泉 忠博	しろね稻作部会長
監事	渡辺 昌文	新潟かがやき農協代表常勤監事
監事	野口 聰	有限会社味方ふあーむ

職員の紹介

4月の人事異動に伴い、事務局4名の内3名の職員が変更となりました。

新たなメンバーで南区地域の活性化と地域農業の持続的発展のため、職員一同力を合わせて尽力いたしますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【職員名簿】

職名	氏名	所属
事務局長	高橋 昭一	JA新潟かがやき(公社常勤)
事務局次長	小布施 瞳	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務局員	大倉 崇	新潟市南区産業振興課(公社常勤)
事務局員	坂井 真紀	JA新潟かがやき(公社常勤)

会員数

(年度末現在)

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
正会員		4	4	3	3	3
特別会員	計画	180	190	195	200	205
	実績	181	181	198	195	230
	農業団体	2	2	2	2	2
	農業者	18	18	18	18	21
個人		161	161	178	175	207
その他		0	0	0	0	0
合計		185	185	201	198	233